

平成 21 年度情報処理軽井沢セミナー

期間：平成 21 年 9 月 1 日～ 4 日（4 日間） 場所：国際高等セミナーハウス

参加：愛知教育大学 情報図書課 情報化推進室 佐合尚子

タイトル：Shibboleth によるシングルサインオンの実現

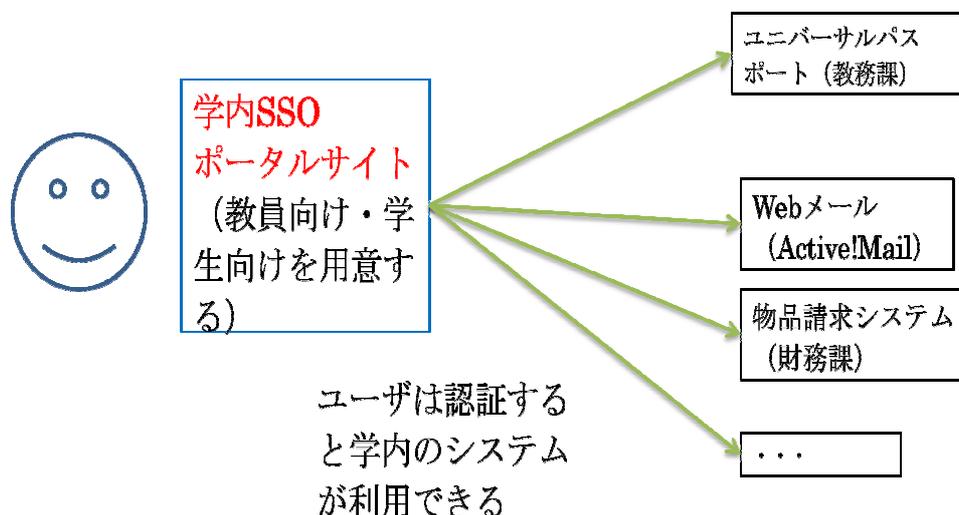
<シングルサインオンの効果>

シングルサインオンとは複数のシステムを 1 つの ID/パスワードで利用できるようにすることである。メリットは、1) 利用者・サーバ管理者ともに管理が楽になる。2) 分散している ID/パスワードを集中させることにより情報漏えいのリスクを低減できる。（ただし、集中させたサーバの管理は厳密に行う必要がある。）3) Web サービスを行うサーバは個人情報（ID など）を持たなくても良い。

<本学での導入について>

○本学で Shibboleth 導入のイメージ

学内シングルサインオン（SSO）ポータルサイトから、一度認証すれば Web メールシステムや学内ポータルサイトが閲覧できるようにする。



○本学での Shibboleth 導入に向けて

Shibboleth を導入するには、IdP を大学で構築しなければならない。本学では、マンパワーがないため、サーバの保守が心配となる。もし、技術職員などが不在としているときに、サーバが故障した場合、問題がでるなどの可能性がある。

また、近隣の大学のみなどでフェデレーションをたてて、SP を利用する地域フェデレーションは、Shibboleth 導入において早期ステップになるのではないかと考える。これは、本学でいえば教員養成系大学のみでのフェデレーションのみをたてて、SP を利用する方法である。たとえば、免許状更新講習で構築した SP (moodle など) に、数千人の受講生が各大学からアクセスするということも可能である。

○導入時の問題

本学で導入するならば、学内サービスからスタートする予定なので、はじめは導入への反対はほとんどないと思う。しかし、学外の SP を利用すると導入に向けて慎重に行う必要がある。他大学や海外の SSO の導入状況を考えると電子ジャーナルなどが Shibboleth 認証に対応し、SSO を利用すれば学外から電子ジャーナルを閲覧できるため、図書館系列において SSO は重要視されているようである。

○本学での SSO 導入への進め方 (案)

次期リプレイスで業者を介した SSO の導入を行う。しかし、図書館系列では、学外から電子ジャーナルを閲覧したいユーザが本学にどのくらいいるかわからないため、IdP を構築しておいていつでも、NII のフェデレーションに参加可能な状態にしておくのも良いと思う。また、NII のホスティングサービスを待ってそのときに参加するということも考えられる。



愛知教育大学の紹介と 今後のSSO導入について

国立大学法人
情報図書課

愛知教育大学
情報化推進室
佐合尚子

大学紹介



- 教育学部のみ

- 教員養成課程と現代学芸課程に分かれる
- 7つの附属学校園
- 教職員：約600人 学生：約4000人

- 学生のパソコンの使用

- 学生は、約7割が教員になる（全国2位）。免許状取得必須科目に「情報機器の操作」があるため、学部生全員が1年生のときにPCを用意し、情報リテラシ教育を必修でうける。

大学紹介：情報系の組織の形態

- **委員会**
 - 情報システム委員会
 - 情報システム実施管理委員会
- **情報化推進室（情報処理センター）**
 - 学内のインフラの整備やサービスの提供
- **情報システム係**
 - 事務用PCや事務システムの保守
- **情報サービス係**
 - リポジトリや図書館システムの保守



本学でのSSOの構想 ：今の認証形態

- 学生

- 1つのIDとパスワードを持つ
 - メール等センターが発行するID
(LDAP、AD、RADIUS)

- 教員

- 3つのIDとパスワードをもつ
 - 物品請求システム
 - グループウェア
 - メール等センターが発行するID
(LDAP、AD、RADIUS)



本学でのSSOの構想

： 将来的認証形態

- 認証系を統合し、学内認証向けのSSOサービスを作成したい



学内SSO
ポータルサイト
(教員向け・学
生向けを用意す
る)

ユニバーサルパス
ポート (教務課)

Webメール
(Active!Mail)

物品請求システム
(財務課)

...

ユーザは認証する
と学内のシステム
が利用できる

現在のSSO実現の可能性

- 次回リプレイスでSSOを実現したいと今は考えている。
- どのSSOのシステムを導入するかはきまっていない。



研修を終えて

： Shibboleth導入に思うこと

- **IdPを構築しても運用後の保守が心配**
 - **マンパワーがないため**
- **今までの経験上・・・**
 - 附属学校などから相談をうけてWebサーバなどを構築してきたが、何か起こると構築した人しか現状がわからず**保守が困難**という状況
 - 事務職員の技術的能力も低い
 - 体制もできていない



Shibbolethを導入するならば… ：要望すること（1/2）

- IdPを**構築するサービス**をしてほしい
ということと、その後も**メンテナンス**
も行ってほしい。

→ IdPが構築されれば、「**それを利用**
したい、情報に詳しい教員がSPを構築
する」、ということは十分考えられる。



Shibbolethを導入するならば… ：要望すること（2/2）

- NIIの方に来てもらって、**わかりやすい**研修会をやってほしい。

→メンバは情報に詳しい人が入って
いたりまったく詳しくない人が入って
いたりする。



最後に、研修を終えて今後のSSO導入に向けて考えたこと

- ディスカッションであった**地域フェデレーション**は、教員養成系のように、似たような形態の大学との連携は、**SSOの導入の早期ステップになるのでは！？**
- 免許状更新講習のための講義などでmoodleなどを使用した授業などもでてくると思う。**大学同士が同じSPを利用する**などと連携をとって行うということも考えられる。





おしまい

ありがとうございました。